

リアルとバーチャルで企業の魅力発信

市内経済の活性化を目指した産学公連携フォーラム開催

◎チラシあり

市は12月3日(土)、ものづくりに関わる企業を中心に地域産業活性化などを旨とするひらかた地域産業クラスター研究会と連携し、枚方産学公連携フォーラム2022を開催する。同フォーラムでは、有識者による「地域一体型オープンファクトリー」の基調講演をはじめ、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の技術を用いたメタバース活用モデルケースや産学公連携事例、パネルディスカッション、大阪工業大学の研究事例の発表を行う。メタバース活用モデルケースの発表では仮想空間内での展示商談会を試行実施。担当者は「2025年の大阪・関西万博に向けて、市内企業の魅力をリアルとバーチャルの両面から市内外に発信したい」と意気込む。

市は同フォーラムを機に、今後、仮想空間内で市内企業の魅力を発信するバーチャル展示会を開催予定。バーチャル展示会に向け、産学公一体で取り組んでいく。

★同フォーラムは、市内経済の活性化を図るため、ひらかた地域産業クラスター研究会と市が地域の企業や大学、産業支援機関等と連携して平成17年から毎年開催している。今年は産学連携の原点に立ち返り、2025年大阪・関西万博に向けて、リアルとバーチャルの両面から市内企業の魅力を市内外に発信する。

★「地域一体型オープンファクトリー」は、ものづくりに関わる中小企業など一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく地域内の企業等が集まり、地域一体的に魅力を発信するもの。開催する地域にとってまちの魅力を再認識する契機となり、企業にとっては地域社会と新しい接点を持つことで地域の企業としての意識(ローカル・カンパニー・プライド)の芽生えやイノベティブな着想を得る機会につながっている。同フォーラムでは、近畿経済産業局イノベーション推進室総括係長津田氏と株式会社盛光SCM代表取締役草場氏による「地域一体型オープンファクトリー」の基調講演を実施。他地域での先駆的事例を知る機会になると共に、新たな繋がり創出、地域におけるオープンイノベーションの推進を目指し、枚方らしい事業展開についてパネルトークを繰り広げる。

★メタバース活用モデルケースの発表では、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の体験共有プラットフォーム「みなっば」を使い、枚方市立地域活性化支援センター(ひらっく)と市内企業の株式会社ノボル電機をモデルに360度映像で作成したメタバースを見せながら、メタバースの特徴やメリット、活用方法を紹介する。

★同フォーラムは、12月3日（土）午後1時30分～5時30分、輝きプラザきらら内地域活性化支援センター（ひらっく）で開催する。オンラインでの視聴も可。入場・視聴無料。12月1日までに専用フォーム（https://www.hirakata-kassei.jp/seminar/form_forum_2022/・右記コード）から申し込み。先着で会場100人、オンライン50人。



<問い合わせ>

観光にぎわい部 商工振興課 ☎072-841-1325、FAX072-841-1278



リアルとバーチャルの両面で協創の場づくりを進めよう！

枚方産学公連携フォーラム 2022

それ、どうやってんの？～産学公連携の原点に立ち返って～

日時

2022年 **12月3日 (土)**

13:30 (開会) ~ 17:30 (13:00開場・パネル展示)

オンライン (Zoom) 同時開催！

会場

枚方市立地域活性化支援センター

7階 たまゆらイベントホール (輝きプラザきらら内)

定員 150名 (先着順)

参加無料

基調講演

価値協創はリアルの場合づくりから!?

価値協創の時代における“サードプレイス”の重要性 ～手段としての地域一体型オープンファクトリー～



津田 哲史 氏 (近畿経済産業局 イノベーション推進室総括係長)

2008年経済産業省近畿経済産業局入局。中小企業金融、企業立地、設備投資税制を通じた産業支援に取り組んだ後、大阪府八尾市に出向。経済環境部参事として「みせるばやお」の立ち上げをはじめとした商工行政に従事。2025年大阪・関西万博を見据えて、新たな関西の魅力を発信する手段として、関西各地に広がる地域一体型オープンファクトリーに注目。本講演では価値協創におけるサードプレイスの重要性と、万博に向けた地域一体型オープンファクトリーの動向をご講演頂く。



草場 寛子 氏 (株式会社盛光 SCM 代表取締役/こーばへ行こう! 実行委員長)

事業所密度全国1位のモノづくりの町、大阪府東大阪市。同市で60年以上にわたり、金属加工を主に照明器具やダイカスト部品を手掛けてきた盛光SCMの三代目社長として「下請け体質の脱却」を掲げ、PBブランドの立ち上げ、海外進出を推進。さらに、東大阪のオープンファクトリー「こーばへ行こう!」の実行委員長として、町全体の活性化に繋がる活動にも積極的に取り組んでいる。本講演ではオープンファクトリーの事例を踏まえ、我々にもできる取り組みをご提案頂く。

パネルディスカッション

イノベーションはどこで生まれるのか?

きっかけは課題解決!? 枚方はどうする?



モデレーター

近畿経済産業局
イノベーション推進室
総括係長

津田 哲史 氏



パネラー

株式会社盛光SCM
代表取締役
こーばへ行こう!
実行委員長

草場 寛子 氏



パネラー

アクテック株式会社
代表取締役

芦田 知之 氏



パネラー

香椎化学工業株式会社
取締役

原田 卓哉 氏

事例発表

これからの枚方と私たちにもできるメタバース!



コーディネーター

国立研究開発法人
情報通信研究機構 (NICT)
イノベーションプロデューサー

今井 弘二 氏

急速に発展するXRやますます注目を集める「メタバース」。我々はバーチャル空間をどのように活用すれば良いのか。本事例発表では情報通信研究機構(NICT)が開発を進める「みなっば」*を用いた事例と産学公連携の事例を発表します。

事例発表①

NICTシーズ活用

枚方市立地域活性化支援センターひらっく

バーチャル空間を活用し、現地案内としてインキュベートルームの内見を紹介。

事例発表②

NICTシーズ活用

株式会社ノボル電機

効率的で販路拡大も期待される疑似体験型の新たなバーチャル展示を紹介。

事例発表③

産学公連携

アクテック株式会社

これまでの取り組み事例から、今後の産学公連携に期待すること。



*「みなっば」は汎用で簡易なバーチャル共同体験を低コストで実現します。

研究発表

イノベーション大賞の研究発表 大阪工業大学

- 主 催：枚方市/ひらかた地域産業クラスター研究会
- 共 催：北大阪商工会議所/枚方市工業会/枚方七企業団地連絡協議会^(※1)/学園都市ひらかた推進協議会^(※2)
- 後 援：大阪府/(公財)関西文化学術研究都市推進機構/枚方信用金庫/国立研究開発法人情報通信研究機構
- 事務局：枚方市立地域活性化支援センター (愛称：ひらっく)

- ※1 枚方七企業団地連絡協議会
枚方家具団地協同組合/枚方企業団地協同組合/枚方鉄工塗装近代化協同組合/枚方工業団地協議会/大阪紳士服近代化協同組合/枚方東部企業団地協議会/津田サイエンスヒルズまちづくり協議会
- ※2 学園都市ひらかた推進協議会
大阪歯科大学/関西医科大学/関西外国語大学/摂南大学/大阪工業大学

プログラム

- 1 開会あいさつ** (13:30~13:45)
枚方市 市長 **伏見 隆**
ひらかた地域産業クラスター研究会 会長 **佐々木 啓益**
- 2 基調講演** (13:45~14:30)
『価値協創の時代における“サードプレイス”の重要性
～手段としての地域一体型オープンファクトリー～』
講演：
近畿経済産業局 イノベーション推進室 総括係長 **津田 哲史** 氏
株式会社盛光SCM代表取締役 **草場 寛子** 氏
- 3 パネルディスカッション** (14:30~15:15)
『きっかけは課題解決!?枚方はどうする?』
- 4 事例発表 ①** (15:15~15:40)
- 5 事例発表 ②** (15:40~16:05)
- 6 パネル展示PR** (16:05~16:25)
— 休憩 —
- 7 事例発表 ③** (16:40~17:05)
- 8 研究発表 大阪工業大学** (17:05~17:25)
●イノベーション大賞の研究発表
- 9 閉会あいさつ** (17:25)
ひらかた地域産業クラスター研究会 **織田 章宏**

アクセス

【バスをご利用の方へ】

- 京阪枚方市駅発の京阪バス「北片鉾」行き、もしくは「小倉町」行きにご乗車の上、「片鉾・中央図書館」バス下車。
- JR長尾駅発の京阪バス「枚方市駅北口」行き、もしくは「関西医大枚方病院」行きにご乗車の上、「須山東」で下車。「須山町」バス停で京阪バス「北片鉾」行き、もしくは「小倉町」行きに乗り換え、「片鉾・中央図書館」バス下車。

【お車をご利用の方へ】

- 府道杉田口禁野線「甲斐田新町」交差点から、楠葉中宮線を北へ、約1km。
駐車台数に限りがありますので、なるべく電車、バスをご利用ください。
※近隣の商業施設駐車場には駐車しないでください。



お申込み・お問い合わせ先

■申込みフォームから

URL <https://www.hirakata-kassei.jp/>

「講演会・セミナー一覧」よりお申込みください。

<定員>先着順**150名**(会場**100名** オンライン**50名**)

※申込期限 **12月1日(木)**

こちらからもお申込み
いただけます



■お問い合わせ先

枚方市立地域活性化支援センター内 枚方産学公連携フォーラム事務局宛

・TEL **050-7105-8080**

・FAX **072-851-5384**

・E-mail kurasuta@kocci.or.jp

●お申込み情報は、ひらかた地域産業クラスター研究会からの各種連絡・情報提供のために利用する他、参加者の実態調査・分析のため利用いたします。

【注意事項】 ・オンライン参加をお申し込みの方には事前にご案内メールをお送りします。当日までに視聴環境の確認をお済ませください。
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、掲載プログラムを変更または中止する可能性があります。